

卒前教育、卒後教育、高次脳機能障害

准教授 池寄 寛人
Hiroto Ikezaki

現在の研究テーマと内容

私の研究テーマは、「言語聴覚士教育における専門職としての自己効力感向上プログラムの開発」です。自己効力感とは、ある状況下で適切な行動を遂行する能力が自分にあるか否かを表す概念で、高い自己効力感を有する人は困難に直面した際に「自分ならできる」と思い行動することができます。自己効力感の変化は行動の変化に先行するとされており、自己効力感を向上させることで専門職としての行動変容を促すことができると考えています。

これまでの研究成果と今後の展開

これまでに「言語聴覚士自己効力感尺度（池寄寛人ら，言語聴覚研究19，2022）」を開発し、第15回言語聴覚研究優秀論文賞（日本言語聴覚士協会）を受賞しています。今後は、開発した尺度を用いて縦断的に自己効力感の変化を調査し、所属施設別に評価することで言語聴覚士教育における専門職としての自己効力感を向上させるための具体的な手立てを検証していきたいと考えています。

大学院を目指すみなさんへメッセージ

臨床を行う中で生じるリサーチクエスチョンに対して、「どのようにデータを集め、どのように検証すればよいのか」と悩むことはありませんか。大学院では、そうした問いに応えるための研究手法や考え方を基礎から学ぶことができます。臨床と研究をつなぐ力を身につけることで、アプローチの質も深まります。実践に根ざした問いをともに探究し、成長していきましょう。